

## Y18b 巡回企画「野辺山天文台展」による地域科学館との連携と教育普及の実践

星見まどか, 西村淳, 山田麟(国立天文台)

国立天文台野辺山宇宙電波観測所は、2025年度より巡回企画展「野辺山天文台展」を全国規模で展開している。本企画展は、野辺山宇宙電波観測所および電波天文学に関する解説パネル、フォトスポット、45m電波望遠鏡の3Dモデル等を観測所にて制作し、全国の科学館・公開天文台・プラネタリウム・学校等へ無償提供するものである。また、来場者特典としてオリジナルステッカーを配布するほか、一部施設では関連グッズの販売を実施し、利益の一部を企画展運営に還元している。2025年12月時点で、全国53施設での開催が決定している。さらに、一部の学校では生徒が自主的に展示開催を申請し、所長によるレクチャーを受けた上で、来場者への展示解説を自ら担うという学習活動も生まれている。

本講演では、企画展の概要を紹介するとともに、各開催施設から収集した来場者数や展示に関する情報をもとに実施報告を行う。また、企画展終了後の施設および学校を対象にアンケート調査を実施し、(1)国立天文台が地域の科学教育施設に対して果たし得る貢献の形、(2)開催情報や教材情報の伝達手段として何が有効であったか、(3)今後の連携拡大に向けて必要とされる支援内容、などの観点から評価を行う。

本取り組みは、遠隔地に位置する研究施設の成果と社会との接点を広げるだけでなく、地域の教育現場と協働する新たなアウトリーチモデルを構築するための有効な事例となることが期待される。